

第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は平成25年3月末現在、給水人口4,744千人で、総人口5,076千人に対し93.5%となっており、全国平均の97.7%に比べ4.2ポイント低い状況にあります。

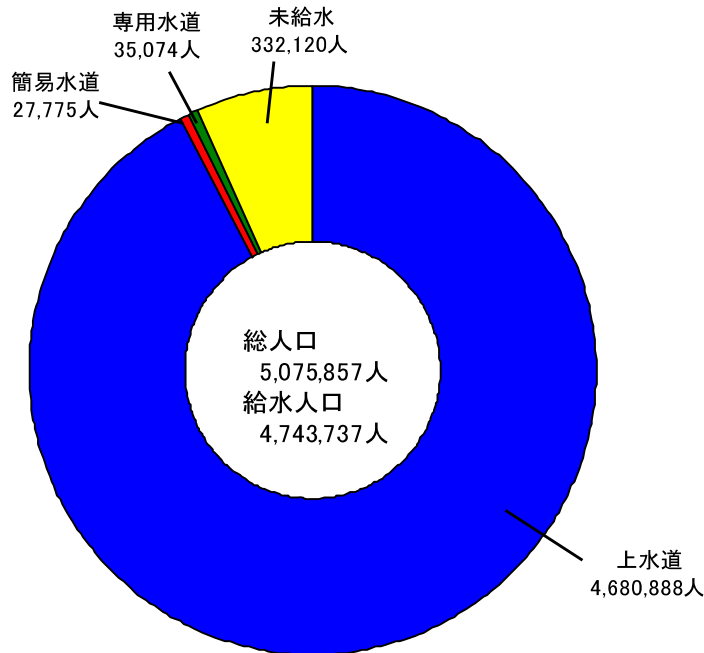
広域圏別では、福岡地域が96.0%と最も高く、次いで北九州地域が95.5%、筑豊地域が94.8%となっており、比較的地下水に恵まれた地域を抱える筑後地域が82.9%となっています。

◎ 現在給水人口と普及率 (平成25年3月末現在)

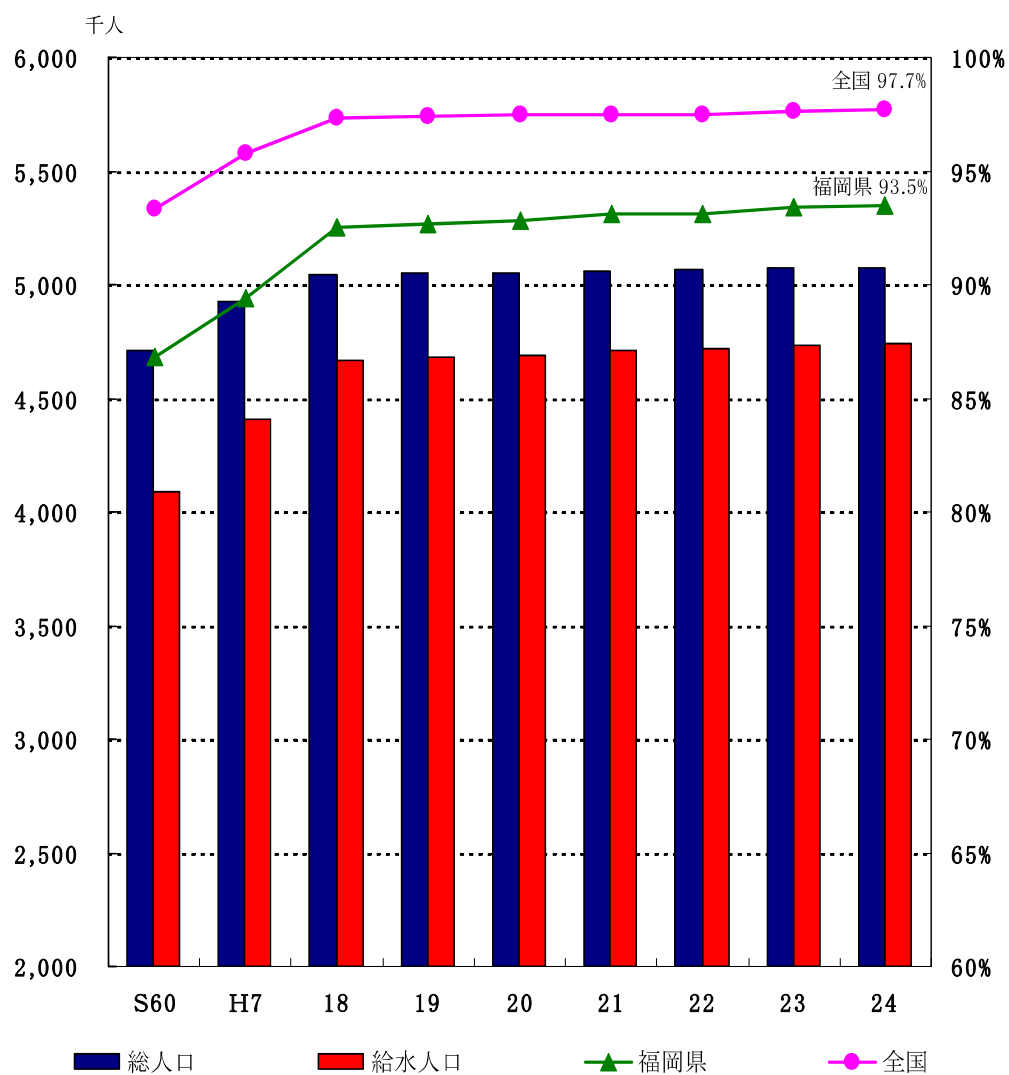
広域圏	総人口 (人)	現在給水人口 (人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,450,537	2,353,216	2,333,030	2,086	18,100	96.0%
北九州	1,292,581	1,234,818	1,224,624	8,430	1,764	95.5%
筑後	907,222	752,233	727,181	11,369	13,683	82.9%
筑豊	425,517	403,470	396,053	5,890	1,527	94.8%
県計	5,075,857	4,743,737	4,680,888	27,775	35,074	93.5%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上

また、水道の種類別での給水人口の内訳は、上水道事業4,681千人、簡易水道事業28千人、専用水道35千人となっており、水道未普及人口は332千人という状況にあります。



◎ 水道普及状況の推移



		S60	H7	18	19	20	21	22	23	24
総人口	(千人)	4,708	4,926	5,043	5,049	5,053	5,060	5,067	5,072	5,076
給水人口	(千人)	4,090	4,404	4,666	4,680	4,691	4,710	4,716	4,737	4,744
普及率	福岡県	86.8%	89.4%	92.5%	92.7%	92.8%	93.1%	93.1%	93.4%	93.5%
	全国	93.3%	95.8%	97.3%	97.4%	97.5%	97.5%	97.5%	97.6%	97.7%

2 給水の状況

(1) 年間給水量

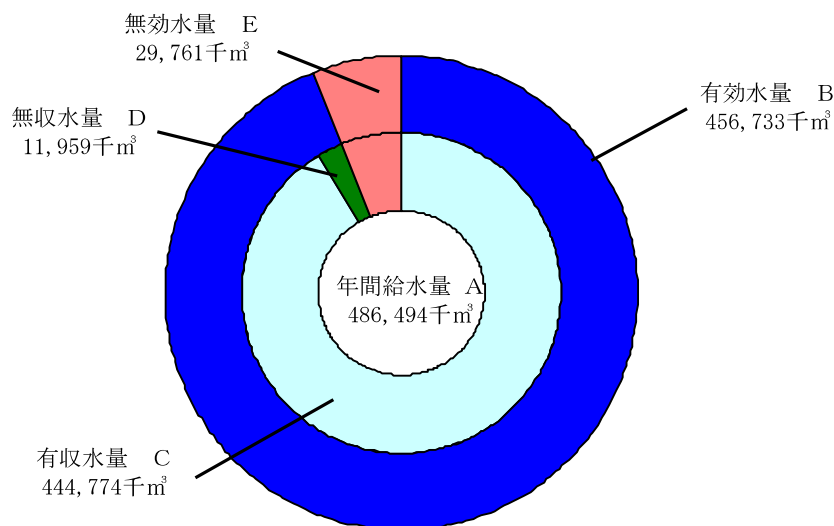
本県の平成 24 年度の年間給水量は 486,494 千 m^3 となっており、前年度と比べ 3,010 千 m^3 減少しています。そのうち、上水道による給水量は 483,652 千 m^3 とその大部分を占めています。

また、年間給水量に占める漏水などの無効水量を除いた有効水量の割合(有効率)は 93.9%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位: 千 m^3)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	224,657	216,372	213,443	2,929	8,285	96.3%	95.0%
	北九州	140,997	128,906	123,543	5,363	12,091	91.4%	87.6%
	筑後	70,133	67,127	64,785	2,342	3,006	95.7%	92.4%
	筑豊	47,865	42,025	40,771	1,254	5,840	87.8%	85.2%
	計	483,652	454,430	442,542	11,888	29,222	94.0%	91.5%
簡易水道	福岡	195	180	179	0.6	15	92.3%	92.0%
	北九州	653	603	599	4	50	92.3%	91.7%
	筑後	1,289	998	971	27	291	77.4%	75.3%
	筑豊	705	522	483	39	183	74.0%	68.5%
	計	2,842	2,303	2,232	71	539	81.0%	78.5%
合計	486,494	456,733	444,774	11,959	29,761	93.9%	91.4%	



- 年間給水量：水道事業者が自己の給水区域に対して給水した量
- 有効水量：メーターで計測された水量(有収水量+無収水量)
- 有収水量：水道料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量：料金徴収の対象とならなかった水量(管洗浄用、公衆便所用等)
- 無効水量：配水管からの漏水等無効となった水量

(2) 用途別有収水量

上水道事業の有収水量の用途別内訳は、生活用が 353,339 千 m^3 、業務・営業用が 77,795 千 m^3 、工場用が 9,137 千 m^3 、その他が 2,271 千 m^3 となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量（上水道）

(単位：千 m^3)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	170,992	41,197	597	657	213,443
北九州	97,197	20,918	4,097	1,331	123,543
筑後	52,729	10,835	1,179	42	64,785
筑豊	32,421	4,845	3,264	241	40,771
計	353,339	77,795	9,137	2,271	442,542
構成比率	79.8%	17.6%	2.1%	0.5%	100.0%

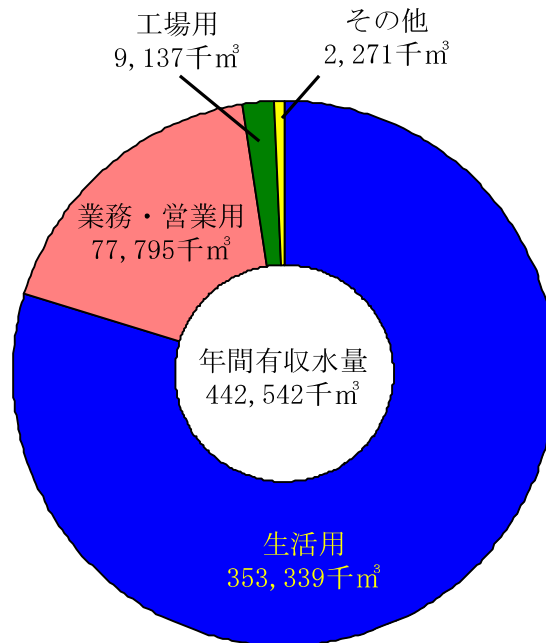
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用等

工場用：工場用

その他：水道事業所用水、水道メーター不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

平成 24 年度における県内の水道事業の一日平均給水量は 1,333 千 m³、一日最大給水量は 1,500 千 m³となっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 283 リットル、最大給水量は 318 リットルとなっており、広域圏別にみると、筑豊地域及び北九州地域が他の地域より多くなっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m ³)	一人一日 (リットル)	日最大 (m ³)	一人一日 (リットル)
福岡	上水道	615,504	264	674,369	289
	簡易水道	534	256	984	471
	計	616,038	264	675,353	289
北九州	上水道	386,293	315	427,801	348
	簡易水道	1,790	212	2,407	285
	計	388,083	315	430,208	348
筑後	上水道	192,145	264	225,405	310
	簡易水道	3,534	310	4,549	400
	計	195,679	265	229,954	311
筑豊	上水道	131,137	331	161,517	408
	簡易水道	1,932	327	2,885	489
	計	133,069	331	164,402	409
県計	上水道	1,325,079	283	1,489,092	318
	簡易水道	7,790	280	10,825	389
	計	1,332,869	283	1,499,917	318
全国	上水道	-	340	-	394

※全国は、平成 24 年度が未公表のため、前年度（平成 23 年度）を掲載

○ 平均給水量

・日平均:年間給水量 ÷ 365日(1年)

・一人一日:日平均給水量 ÷ 給水人口

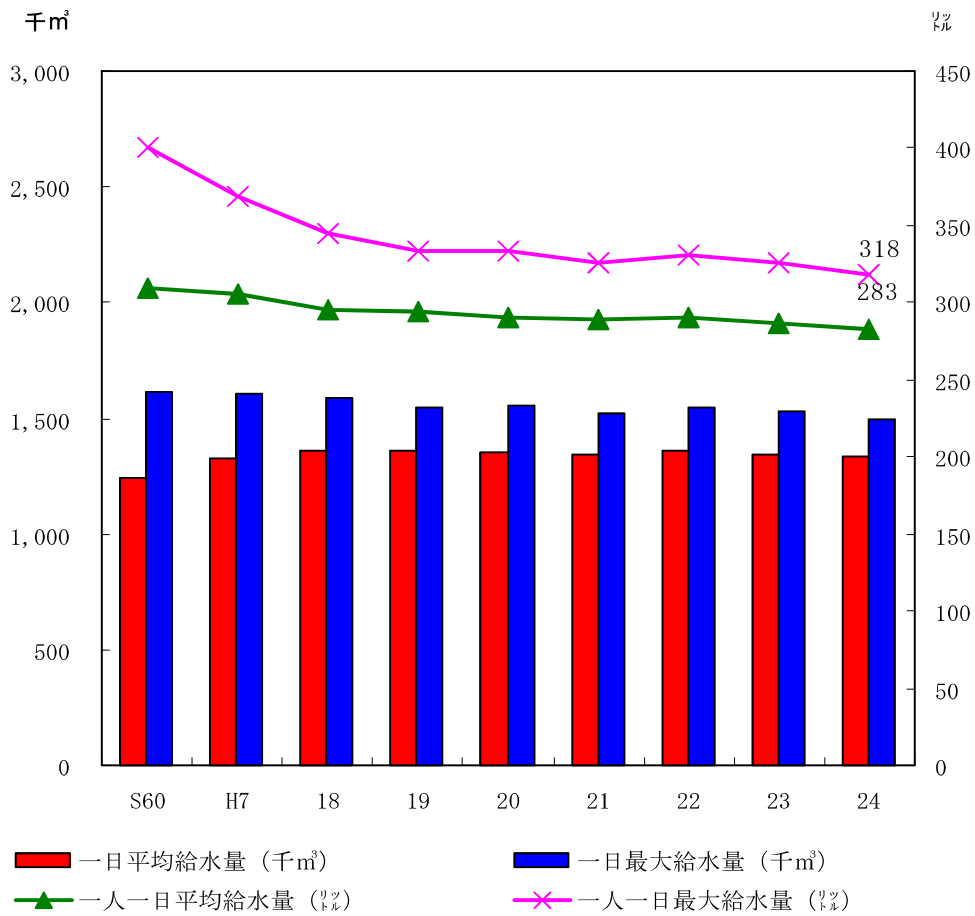
○ 最大給水量

・日最大:水道事業者ごとの日最大給水量の合計

・一人一日:日最大給水量 ÷ 給水人口

本県における一日平均給水量及び一人一日平均給水量は、近年ほぼ横ばいで推移しています。また、一日最大給水量及び一人一日最大給水量については、やや減少の傾向を示しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移（上水道、簡易水道）



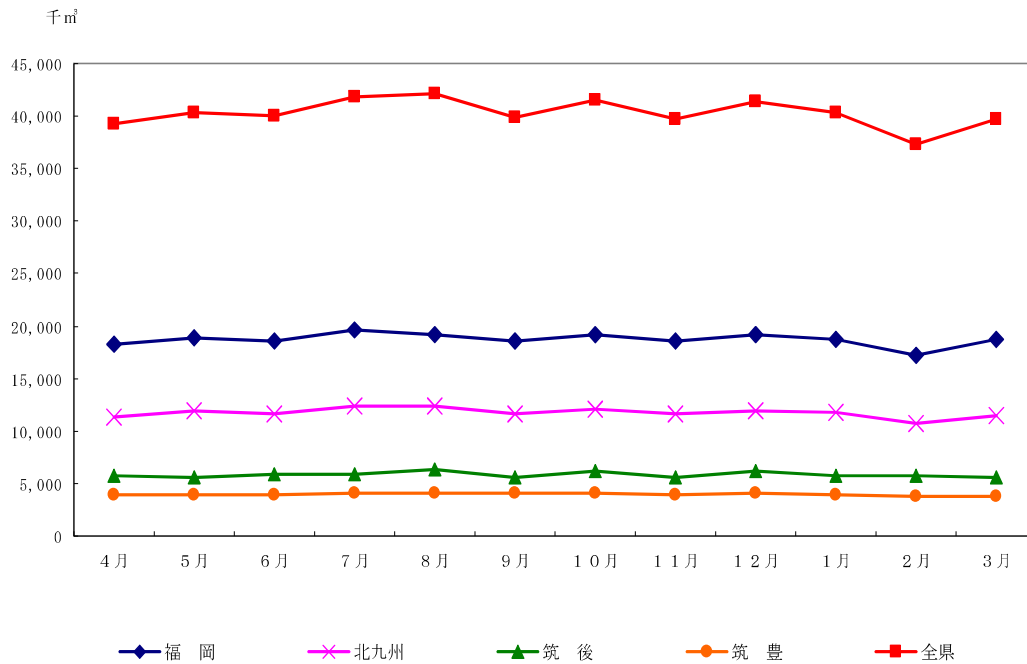
区分 \ 年度	S60	H7	18	19	20	21	22	23	24
一日平均給水量 (千m³)	1,245	1,329	1,361	1,359	1,348	1,347	1,357	1,341	1,333
一日最大給水量 (千m³)	1,611	1,607	1,591	1,548	1,552	1,520	1,546	1,527	1,500
一人一日平均給水量 (ℓ)	309	305	295	294	290	289	290	286	283
一人一日最大給水量 (ℓ)	400	369	345	334	334	326	331	326	318

(4) 月別給水量

平成 24 年度の上水道事業における月別給水量の最大は 8 月の 42,064 千 m³ であり、最小は 2 月の 37,369 千 m³ となっています。

広域圏別にみると、福岡地域の最大は 7 月の 19,559 千 m³、最小は 2 月の 17,150 千 m³ で、北九州地域の最大は 8 月の 12,444 千 m³、最小は 2 月の 10,690 m³ となっており、筑後地域の最大は 8 月の 6,314 千円、最小は 11 月の 5,557 千 m³ で、筑豊地域の最大は 9 月の 4,131 千 m³、最小は 2 月の 3,846 千 m³ となっています。

◎ 月別給水量（上水道）



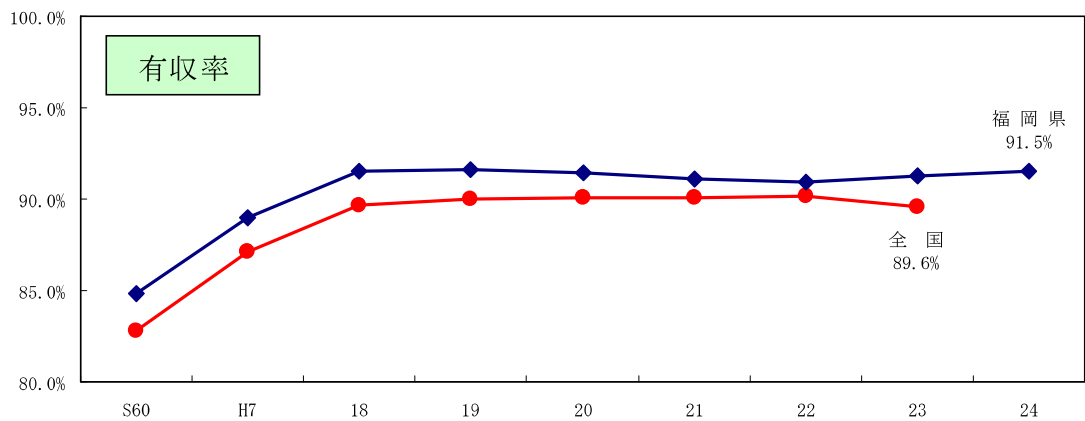
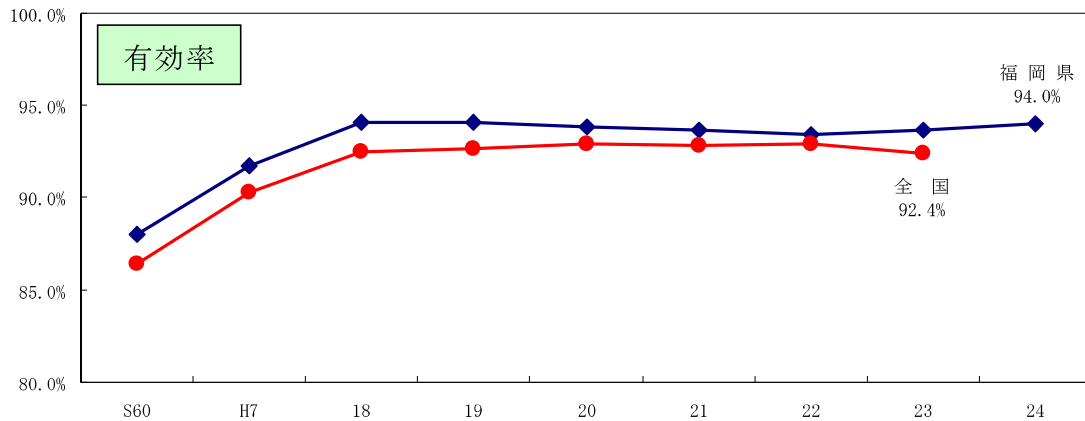
(単位：千 m³)

広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,243	18,890	18,509	19,559	19,190	18,560	19,190	18,612	19,223	18,796	17,150	18,735	224,657
北九州	11,400	11,857	11,602	12,357	12,444	11,636	12,098	11,602	12,000	11,806	10,690	11,505	140,997
筑後	5,789	5,627	5,957	5,869	6,314	5,579	6,151	5,557	6,194	5,796	5,683	5,617	70,133
筑豊	3,863	3,955	3,932	4,090	4,116	4,131	4,125	3,999	4,022	3,938	3,846	3,848	47,865
計	39,295	40,329	40,000	41,875	42,064	39,906	41,564	39,770	41,439	40,336	37,369	39,705	483,652

(5) 有効率、有収率

上水道事業における平成 24 年度の有効率は 94.0%、有収率は 91.5%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移（上水道）



		S60	H7	18	19	20	21	22	23	24
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	94.1%	94.1%	93.8%	93.7%	93.4%	93.7%	94.0%
	全国	86.4%	90.3%	92.5%	92.7%	92.9%	92.8%	92.9%	92.4%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	91.5%	91.6%	91.4%	91.1%	90.9%	91.3%	91.5%
	全国	82.8%	87.1%	89.7%	90.0%	90.1%	90.1%	90.2%	89.6%	未公表

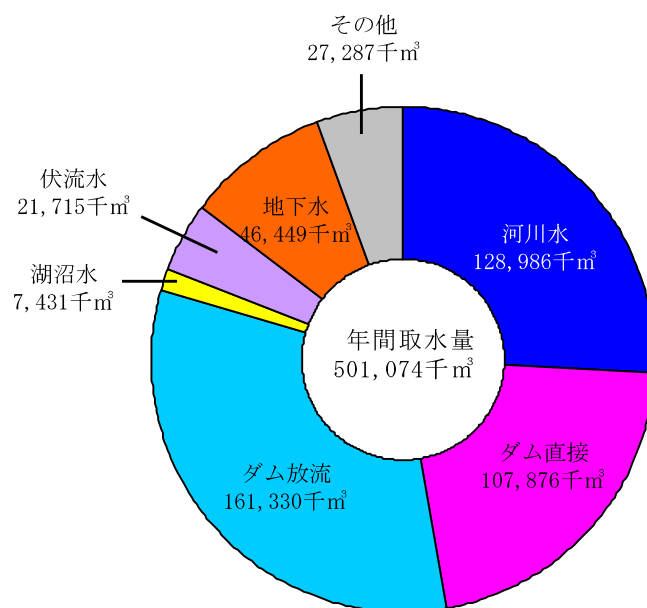
○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

3 取水の状況

上水道事業及び用水供給事業の平成 24 年度における年間取水量は 501,074 千 m^3 で、そのうち河川(河川水、ダム直接、ダム放流)からの取水が 398,192 千 m^3 と大部分を占めています。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、用水供給)

(単位: 千 m^3)

年 度	S60	H7	18	19	20	21	22	23	24
河 川 水	116,791	163,039	117,238	139,094	122,391	138,897	132,788	118,090	128,986
ダ ム 直 接	131,761	113,409	124,851	99,574	118,869	104,626	116,002	126,879	107,876
ダ ム 放 流	134,891	120,667	171,721	172,450	164,168	167,802	146,689	157,447	161,330
湖 沼 水	5,537	7,981	7,916	8,018	7,715	7,498	7,425	7,229	7,431
伏 流 水	22,736	24,389	22,851	21,812	18,056	20,063	21,563	20,002	21,715
地 下 水	47,998	56,701	46,747	48,533	47,532	48,137	50,275	49,002	46,449
そ の 他	1,003	1,429	22,320	29,444	25,765	26,959	29,995	15,011	27,287
(海水淡水化)	-	-	(21,623)	(28,795)	(25,205)	(26,183)	(29,209)	(14,208)	(26,540)
計	460,717	487,615	513,644	518,925	504,496	513,982	504,737	493,660	501,074

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成18年度以降)

4 財務の状況

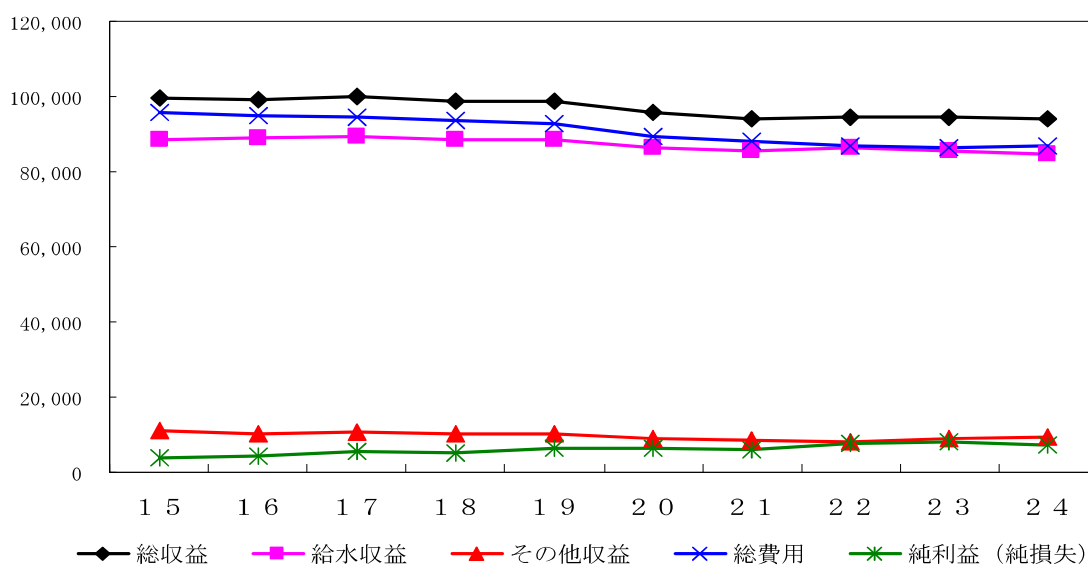
(1) 総収益と総費用

平成24年度における上水道事業の総収益は940億円となっており、前年度と比較すると4億円5千万円減少しており、総費用は4億8千万円増加しています。また、総収益から総費用を差し引いた純利益は70億6千万円と前年度から9億3千万円減少しています。

◎ 総収益と総費用の推移（上水道）

(単位：千円)

年 度	総 収 益 (A)		総 費 用 (B)	純 利 益 (A) - (B)
	給水収益	その他収益		
15	99,672,599	88,521,447	95,729,747	3,942,852
16	99,204,559	88,818,953	94,810,766	4,393,793
17	100,047,167	89,247,728	94,507,398	5,539,769
18	98,795,941	88,664,781	93,537,038	5,258,903
19	98,824,166	88,573,973	92,608,199	6,215,967
20	95,636,195	86,497,671	89,317,396	6,318,799
21	94,048,911	85,699,480	88,084,623	5,964,288
22	94,376,472	86,197,403	86,888,804	7,487,668
23	94,415,833	85,491,831	86,423,294	7,992,539
24	93,967,231	84,698,569	86,907,512	7,059,719



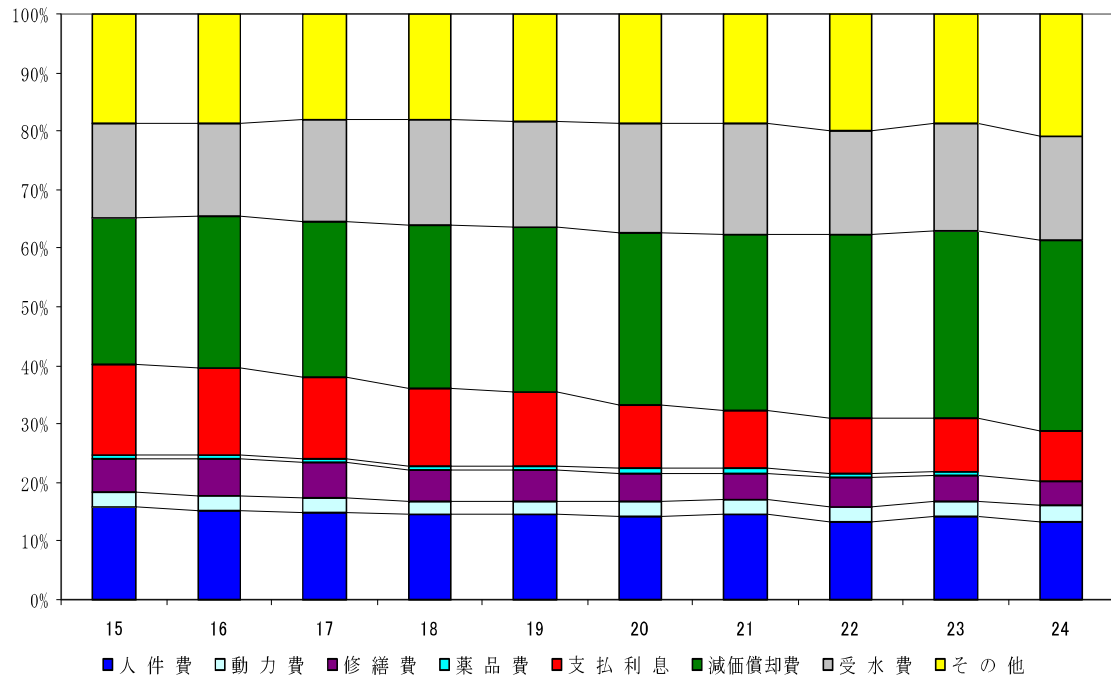
(2) 費用構成

平成 24 年度における上水道事業の費用構成の推移をみると、修繕費及び薬品費、支払利息は減少傾向を示していますが、減価償却費は一貫して増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位：千円)

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
人件費	14,881,041 (15.8%)	14,359,178 (15.3%)	14,004,073 (15.0%)	13,473,489 (14.5%)	13,326,208 (14.5%)	12,674,745 (14.3%)	12,753,005 (14.6%)	11,583,672 (13.4%)	12,163,184 (14.2%)	11,586,512 (13.3%)
動力費	2,359,489 (2.5%)	2,293,631 (2.5%)	2,249,976 (2.4%)	2,095,249 (2.3%)	2,194,508 (2.4%)	2,216,800 (2.5%)	2,135,244 (2.4%)	2,128,387 (2.5%)	2,151,859 (2.5%)	2,247,557 (2.6%)
修繕費	5,360,102 (5.7%)	5,696,300 (6.1%)	5,481,056 (5.9%)	4,894,972 (5.3%)	4,668,713 (5.1%)	4,229,611 (4.8%)	4,031,509 (4.6%)	4,172,701 (4.8%)	3,728,859 (4.4%)	3,593,901 (4.1%)
薬品費	521,181 (0.6%)	606,479 (0.6%)	694,760 (0.7%)	639,946 (0.7%)	711,474 (0.8%)	688,817 (0.8%)	847,235 (1.0%)	823,165 (1.0%)	652,646 (0.8%)	628,482 (0.7%)
支払利息	14,701,752 (15.6%)	13,963,110 (14.9%)	13,078,195 (14.0%)	12,408,242 (13.4%)	11,540,718 (12.6%)	9,559,580 (10.8%)	8,570,961 (9.8%)	8,201,306 (9.5%)	7,854,700 (9.2%)	7,551,342 (8.7%)
減価償却費	23,739,122 (25.2%)	24,341,977 (26.0%)	24,876,796 (26.6%)	25,536,256 (27.6%)	25,935,327 (28.3%)	26,095,868 (29.5%)	26,235,553 (30.1%)	26,946,549 (31.2%)	27,436,205 (32.1%)	27,973,733 (32.2%)
受水費	14,954,759 (15.9%)	14,919,555 (15.9%)	16,120,921 (17.3%)	16,761,061 (18.1%)	16,636,838 (18.1%)	16,317,695 (18.5%)	16,449,304 (18.9%)	15,330,453 (17.8%)	15,679,005 (18.3%)	15,404,023 (17.7%)
その他	17,736,298 (18.8%)	17,393,610 (18.6%)	16,916,950 (18.1%)	16,879,258 (18.2%)	16,720,923 (18.2%)	16,656,167 (18.8%)	16,202,508 (18.6%)	17,113,673 (19.8%)	15,910,362 (18.6%)	17,910,553 (20.6%)
計	94,253,744 (100.0%)	93,573,840 (100.0%)	93,422,727 (100.0%)	92,688,473 (100.0%)	91,734,709 (100.0%)	88,439,283 (100.0%)	87,225,319 (100.0%)	86,299,906 (100.0%)	85,576,820 (100.0%)	86,896,103 (100.0%)



5 水道料金（上水道）

水道料金は各水道事業者間で異なり、平成 25 年 3 月末現在における家庭用 1 ヶ月 20 m³当たりの料金は、下記の表のとおり 3,500 円以上 4,000 円未満の事業者が最も多く、18 事業者となっています。

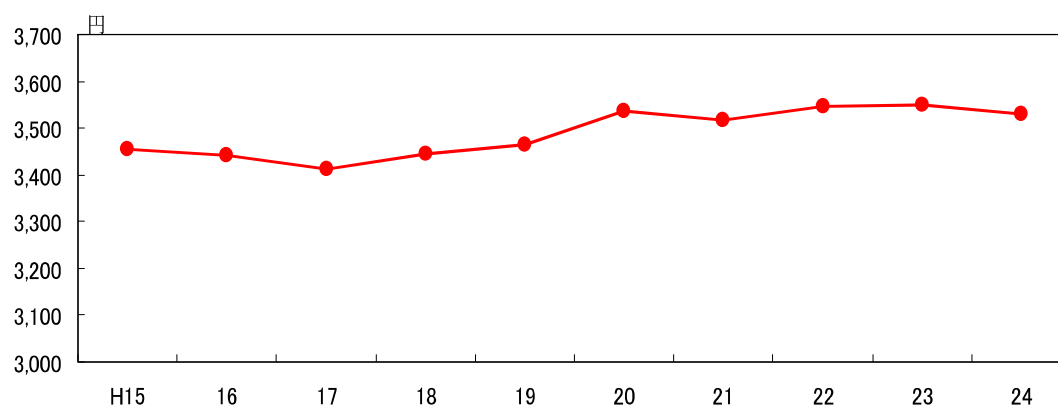
なお、家庭用1ヶ月 20 m³当たりの水道料金の県平均は 3,529 円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月 20 m³当たりの水道料金（上水道）

（平成 2 5 年 3 月 3 1 日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	5
2,500円以上～3,000円未満	7
3,000円以上～3,500円未満	9
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	8
4,500円以上	3

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用 1 ヶ月 20 m³当たり）



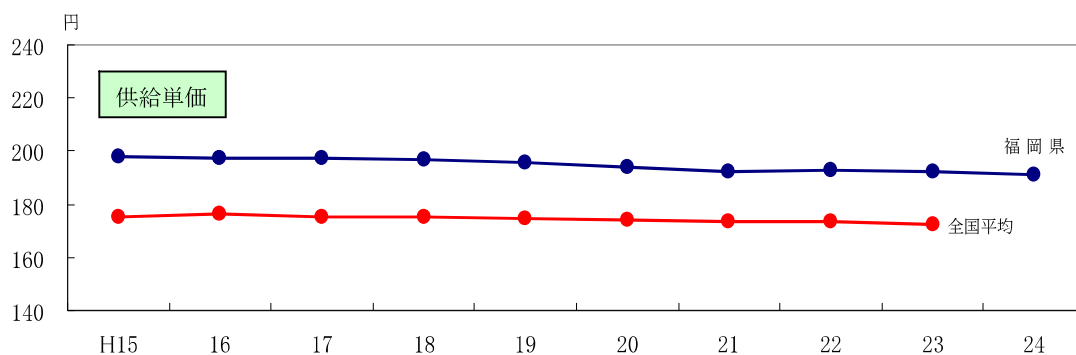
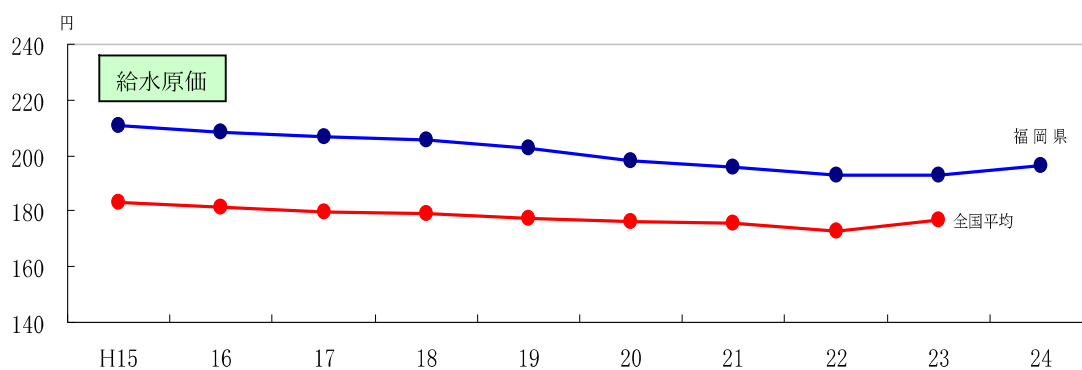
年度	H15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
福岡県	3,454	3,443	3,412	3,444	3,464	3,536	3,518	3,546	3,549	3,529

※ 基礎料金・メーター使用料を含む
 全国平均（平成23年度）：3,089円

6 給水原価と供給単価（上水道）

平成 24 年度における上水道事業の給水原価は 196.36 円/m³、供給単価は 191.39 円/m³となっており、推移をみると減少傾向を示していますが、全国平均と比べると上回っています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年 度		H15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
給水原価	福岡県	210.84	208.20	206.78	205.62	202.89	198.17	195.97	192.86	192.62	196.36
	全国平均	183.36	181.16	179.74	178.83	177.45	176.35	175.47	172.65	176.88	未公表
供給単価	福岡県	198.02	197.62	197.54	196.69	195.90	193.82	192.54	192.64	192.43	191.39
	全国平均	175.17	176.09	175.21	175.20	174.78	174.31	173.51	173.46	172.47	未公表

○ 給水原価：有収水量 1 m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量 1 m³当たりについて、どれだけ収益をえているかを表すもの。